

令和5年度 授業改善推進プラン（小学校学級担任用）

福生第三小学校 第2学年2組 担任 ○○ ○○

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	5 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	92.0%	92.1%
		25 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	83.3%	83.5%
		54 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	95.8%	91.7%
	目標の達成	10 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	45.8%	58.3%
		15 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	76.0%	89.1%
	他者との協働	56 わたしは、友だちをばかにしたりからかったりせず、一人ひとりの心や命を大切にしている。	76.0%	72.2%
	学力と関係が深い質問	3 本屋や新聞を読んでいる。	64.0%	68.1%
		19 わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	84.0%	86.4%
		20 学習をはじめたら、他のことに気をとられないで、集中している。	87.0%	90.2%
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	○全国平均正答率を1.5ポイント上回り、(漢字の読み 白いうさぎ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を7.4ポイント下回り、(ひらがな長音を選ぶ) 設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を6.4ポイント下回り、(放送中の説明と合う内容を選ぶ) 設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を11.0ポイント下回り、(文章中の説明に沿って空欄に合う内容を書く) 設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を12.9ポイント下回り、(場面の様子を読み取って抜き出す) 設問に課題がある。		
算数	数と計算	○全国平均正答率を1.1ポイント上回り、(1位数+1位数の計算をする 繰り上がりあり) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を26.6ポイント下回り、(魚の絵の後ろから2匹を○で囲む) 設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を1.8ポイント下回り、(転がりにくい立体を選ぶ) 設問に課題がある。		
	測定	○全国平均正答率を0.1ポイント上回り、(方眼をもとに一番長いものを選ぶ) 設問に成果がある。 ▲全国平均正答率を16.8ポイント下回り、(指示された時刻を指している時計を選ぶ 4時55分) 設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を2.2ポイント下回り、(絵グラフにあるものの個数を答える。) 設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
『自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う』の設問では、全国平均に比べ4.1ポイント上回っていることから、向上心が高い児童が多いと考えられる。『ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある』の設問では、全国平均を下回り、学習に対してやりがいや喜びを感じていない児童が多いと考えられる。 国語においては、語彙や言葉の豊かさ、書く力を高めていく必要がある。特に、書くことが苦手とする児童が多く、文の組み立ての理解の定着が必要である。 算数においては、基礎的な計算、数の理解が定着していない。文章を読み取る力も十分でないため、学習内容を理解できていない状況も見られる。		【国語】 ・授業の中で、読み聞かせを積極的に行い言葉に触れる機会を増やす。 ・読書の指導を充実させ、新しい言葉に触れる機会を増やし、語彙力を高める。 【算数】 ・朝学習で計算問題に取り組み、計算力の向上を図る。特に、短い文章問題等を積極的に取り組み、読み取る力を高めていく。 ・具体物を活用し、数の理解が定着するようにする。 ・問題文の重要な言葉に着目させ、文章問題を読み取る力の定着を図る。		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 88.5% (23人/26人中)		
確認テストの実施状況		令和5年8月末時点で完了している児童 88.5% (23人/26人中)		

